


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:角田市水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要


取組の概要：
 土地利用型露地野菜産地の形成の推進
 計画作成主体：角田市水田農業推進協議会
 対象品目：
 ねぎ・ブロッコリー（産地面積13.5ha）
 主な取組主体：農事組合法人館島田生産組合
 成果目標：
 ねぎ・ブロッコリーの販売額10%以上の増加
 助成金の活用状況：
 生産支援事業（長ねぎ皮剥き機）



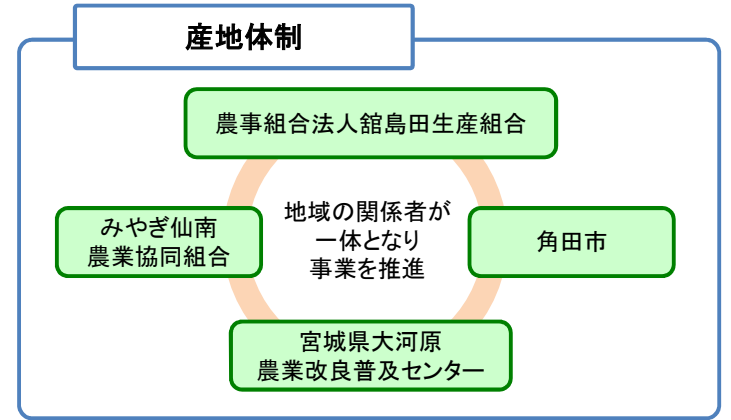
宮城県
角田市
隈東地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 水田農業から土地利用型露地野菜生産（ねぎ・ブロッコリー）への誘導、収益性向上を図るため省力化機械化体系を含めた栽培計画の作成するなどし、地域全体の所得の向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】
 生産拡大に伴う高性能機械（皮剥き機）の導入、機械の共同利用により、土地利用型露地野菜の作付面積を拡大することによって販売額10%以上の増加を実現。



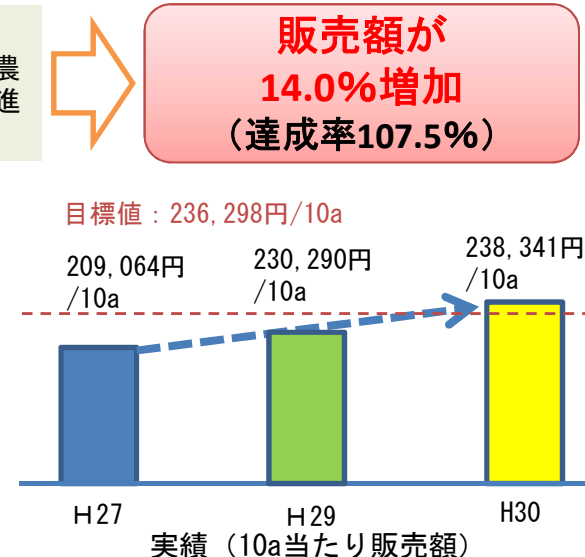
地域における独自の取組

〈主な取組〉

機械の共同利用を推進し、水田転作により面積拡大、生産拡大、定着に必要な生産技術の習得を図るための検討会の実施。

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・省力化機械化体系の整備による水田農業から土地利用型露地野菜への転換推進によって販売額の増加が実現。



販売額が
14.0%増加
(達成率107.5%)

目標値：236,298円/10a

209,064円/10a 230,290円/10a 238,341円/10a

H27 H29 H30

実績（10a当たり販売額）

